



57 モルック

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

2つ以上のチームでモルックを投げてスキットルを倒し、先に50点ぴったりに得点したチームが勝利するというゲームです。

1 ねらい

身体能力や体力に関係なく、多世代のコミュニケーション促進と、親睦を深めさせます。
(小学校 体育 中学校 保健体育)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 屋外(芝生) 60人・プレーホール 60人・大ホール 20人
(1セット最大6名×3チーム)
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1時間(人数により変わります)

3 職員の支援について

・物品貸出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。(依頼があれば活動支援に入ることができます。)

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・筆記用具	
個人	・運動ができる服装・ズック(屋外用、屋内用)	
自然の家	・用具一式 (モルックセット、マット、ブルーシート、得点板)	・スタンダード2セット ・ミニ1セット

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② ルールの説明と諸注意
- ③ 活動
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・競技時間の設定はありません。
- ・1チーム2名～6名、2チーム以上で行います。
- ・ほぼ平坦な所ならどこでもでき、プレーヤーに合わせて距離を設定することができます。ただし、コンクリート上では、木製のモルックセット破損の恐れがあるためご遠慮いただきます。

《資料》

50 点を超えると、減点・・・！

50 点ピッタリにならないといけません。
50 点を超えた場合は、25 点へ減点されます。
ゲームは継続されます。

投げ方は下投げ

モルックでは下投げがルールです。
上からや、横から投げてはいけません。
下投げであれば、あとは自由に投げて OK です。

スキttlは倒れた地点で立てる

自分のターンで倒すことができたスキttlは、
相手ターンになると、その倒れた位置で立てられます。
ゲームが進むにつれてスキttlが広がり、倒すのが難しくなってきます。

3 回ミスで 0 点！

3 回連続スキttlを倒せなかった場合 0 点と記録され、失格となります。

完全に倒れていない場合

スキttlが完全に倒れていない(重なって地面についていない)場合はカウントしません。

スキttl

モルックを投げてこれを倒す



モルック

投げる棒のことをモルックという。
下手投げを行うのが基本。

インターネット 「カモメトリップ」より転載

MOLKKY の基本ルール

準備

モルックを投げてスキttlを倒し
得点を競います
2チーム以上で順番に投げて勝負
1ターンに投げれるのは1チーム1投

モルック



このモルックを投げて
スキttlを倒します
投げ方は下手投げ



3~4m



スキttlの配置



プレイ

1本倒した場合

倒したスキttlの
番号が得点

10点



複数本倒した場合

倒した本数が得点

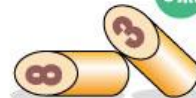
2点



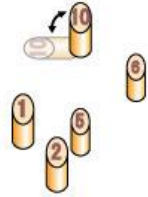
重なった場合

完全に倒れた
スキttlだけ得点

8点



毎回倒れた場所で
立て直す



ゲーム終了

50=Winner

勝ち

得点を加算していき
一番早く50点ピッタリに
したチームが勝ち

Return to 25

戻る

50点を超えてしまったら
25点からやりなおし

3Miss=NG

失格

チームが3回連続
スキttlを1本も
倒せないと失格

※スコア用紙は別紙をコピーしてお使いください。